

第4回 枚方市教育委員会臨時会 会議録							
開会		令和2年8月12日午前10時00分		閉会		令和2年8月12日午後0時12分	
日程番号	議案番号	案 件				結果	
1	議案第12号	令和3年度使用教科用図書の採択について				可決	
構 成 員	教 育 長	奈良 涉		構 成 員	教 育 委 員	谷元 紀之	
	教 育 委 員	神田 裕史			教 育 委 員	橋野 陽子	
	教 育 委 員	近藤 孝			/		
説 明 員	教 育 監 (学校教育担当)	岩谷 誠		説 明 員	教育指導課主幹	乾 敏美	
	学 校 教 育 部 長	狩野 雅彦			教育指導課主幹	伊藤 良峰	
	学 校 教 育 部 次 長 兼 教 育 支 援 推 進 室 長	千原 正敏			教育指導課係長	沓拔 淑子	
	教 育 指 導 課 長	嶋田 崇		記 録	教育政策課課長代理	笠井 二郎	
				傍聴の人数		26人	

○奈良教育長 開会に先立ち、委員の出席状況について報告を求めます。

狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 委員の出席状況について報告します。

本日の会議は、全員出席です。

以上、報告を終わります。

○奈良教育長 報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただいまから令和2年（2020年）第4回枚方市教育委員会臨時会を開会いたします。

次に、本定例会の会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、会議規則第15条第2項の規定により、教育長において、谷元委員を指名いたします。

なお、本日は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職員のマスク着用や空調と換気の併用、1時間ごとに5分程度の換気休憩などの対策を講じながら、進行させていただきます。

本日の教育委員会臨時会では、日程1、議案第12号「令和3年度使用教科用図書の採択について」を議題とします。説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 只今、上程いただきました、議案第12号「令和3年度使用教科用図書の採択について」ご説明申し上げます。議案書1ページをお開きください。

この件につきましては、教育長に委任する事務等に関する規則第2条第1項第14号の規定に基づきまして、教育委員会の議決を求めるものでございます。

○奈良教育長 本案件の審議に際して、私のほうから一言申し上げたいと思います。

本日の教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第21条、教育委員会の職務権限の第6号に規定されておりますとおり、学校での使用義務が課せられている教科用図書を採択する極めて重要な内容です。

そのため、令和3年度から使用する中学校教科用図書の採択に当たり、私や教育委員は、これまで5回の教育政策会議等を開催し、全ての種目の教科用図書を手元に置き、教科書採択の仕組み、採択に係る教科用図書と照らし合わせながら、本年度の選定委員会答申及び調査員報告書等に基づき、学校からの所見、教科書センター及び中央図書館に寄せられた一般の方々からのご意見なども参考に、時間をかけて検討してまいりました。併せて、市民の皆様等から寄せられた要望書等につきましても、すべて拝見しました。

本日は、これまでの検討内容を踏まえ、本市の子どもたちにとって最もふさわしい教科用図書を採択していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、この後の議事についてですが、まず、選定に至る経過について説明を求め、続いて、中学校の教科用図書について審議していきたいと考えます。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。なお、中学校用の教科書については、それぞれの種目の採択が決した後に、議案書15ページの中学校用の欄にその内容を記入していただくようお願いいたします。

では最初に、選定に至る経過について説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 新学習指導要領が、平成29年3月31日に公示され、小学校では、今年度から、中学校では、来年、令和3年度から全面実施されます。

本年度は、この経過を踏まえて、令和3年度から使用する教科用図書の採択事務を、教科書関係法令並びに枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則等に基づき進めてまいりました。

具体的な経過といたしましては、令和2年5月20日に、第1回枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会が開催され、教育委員会教育長から選定委員会委員長に対して、「令和3年度使用教科用図書の選定に関する事項」について諮問いたしました。

諮問を受けた選定委員会では、教科書採択の重要性、教科書採択の公正確保及び教科書採択の仕組みについて確認するとともに、次の2点が決定されました。

1点目は、国語、書写、地図を含む地理、歴史、公民、数学、理科、音楽（一般・器楽）、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、道徳の13種目について、各3名の調査員を置くこと。

2点目は、種目ごとに、校長・教頭・指導主事から2名、教諭から1名、合計3名を教育委員会が調査員として任命し、令和3年度大阪府教科用図書選定資料中学校用を活用し、調査研究を進めていくこと。

以上、2点でございます。

これを受けまして、令和2年6月17日・18日に調査員全体会を開催いたしました。その際、各調査員には教科用図書の見本本を配付し、この見本本とあわせて、大阪府教育委員会の「令和3年度使用教科用図書選定資料中学校用」も活用しながら調査を進めること、「調査員報告書」の作成に際しては、発行されている全ての教科書について、よい特徴の事実を列記することの2点について、依頼いたしました。

また、教育長より、「公正確保の徹底」につとめるよう依頼いたしました。

その後、調査員は約1か月間、集中的に調査活動を行い、7月13日に調査員代表から選定委員会に対して調査員報告書の提出がございました。

また、学校現場の教員の意見も参考にするため、5月18日から6月12日まで各校約1週間の期間を設定し、市立の全中学校対象に令和3年度使用教科用図書の見本本の移動展示を行い、全ての教科書についてよい特徴を意見書に書く機会を設けました。

各中学校から提出されました意見書につきましては、選定委員会において提供するとともに、先ほど教育長からもありましたが、事前に教育長・教育委員の皆様にもご提供させていただいております。

あわせて、広く市民の方などにも教科書を見ていただくため、枚方市立教育文化センターにある教科書センター及び中央図書館で、6月4日から11日まで法定外展示、6月12日から6月27日まで法定展示を行いました。その際、アンケートに多数ご意見をいただいております。それらご意見も、同じく教育長や教育委員の皆様や選定委員会に提供をさせていただきました。

令和2年5月20日に続いて、第2回選定委員会が7月8日に開催されました。

第2回では、令和3年度使用中学校教科用図書採択に係る第1回以降の経過報告の後、中学校教科用図書見本本を各選定委員が閲覧し協議いたしました。

そして、7月27日に、第3回選定委員会、7月29日に、第4回選定委員会が開催され、中学校

教科用図書について、調査員代表から、先ほどご説明いたしました「調査員報告書」に基づき、調査研究の結果報告を受けました。その際、選定委員会として議論を行い、全発行者の中から本市の生徒にとってふさわしいものについて、2社程度をあげたと聞いております。

しかし、第4回選定委員会において、一つの種目におきまして、調査報告書に基づく調査員代表の報告及び説明が不十分な形で行われたと判断されたため、本来は一度である答申を二度に分けて行うに至ったと聞いております。一度目の答申につきましては、8月3日に選定委員会委員長から教育長に提出され、教育政策会議にて教育委員の皆様にお示しさせていただいております。

なお、二度目の答申は、8月19日に提出される予定とのことであります。

選定に至る経過は以上でございます。

○奈良教育長 ただ今、選定委員会からの答申についての経過説明がありましたが、選定委員会の答申が二度行われること、コロナ禍により教育政策会議にも影響が少なからずあったことなどを踏まえると、今回の採択に当たっての審議は、より綿密な調査研究と各種目とも細部にまで慎重に議論をしていく必要があると判断いたしました。

そのため、今年度は「令和3年度使用教科用図書の採択について」を審議する本委員会を本日と8月24日の2回に分けて行い、審議を深めたいと考えます。

ご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。

それでは、本日の審議につきましては、十分に審議が深まったと判断した国語・書写・地理・歴史・公民・地図・数学について行います。まず、中学校の教科用図書について、審議する前に1点確認したいことがあります。

文部科学省からの通知においては、「調査員等が作成する資料においてそれぞれの教科書について何らかの評定を付す場合があっても、採択権者が十分な審議を行うことが必要であり、必ず首位の教科書を採択・選定、又は上位の教科書の中から採択・選定することとするなど、当該評定に拘束力があるかのような取扱いを行うことにより、採択権者の責任が不明確になることがないよう留意すること。」また、「教科書採択の結果及びその理由等の公表に関し、採択権者においては、より一層、採択結果及びその理由をはじめとする教科書採択に関する説明責任を果たすことが求められること。」「教科書採択は、これらの採択権者の判断と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、公正性・透明性に疑念を生じさせることのないよう適切に行われることが必要である」とあります。

これまでも、本市においては、教育委員会が採択権者として責任をもって採択をしてきましたが、採択権者としてより一層、教育委員会の責任を明確にさせるため、今年度の教科書採択に当たっても、まず、教育委員会としての考え方を明らかにしておきたいと考えます。

今年度、採択の対象となる令和3年度から使用される中学校の教科用図書は、来年度から中学校において全面実施される新学習指導要領に基づき、作成されたものになっており、新学習指導要領においては、変化が激しく予測困難な時代を踏まえ、子どもたちが変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、情報を見極めて再構成し、新たな価値につなげてい

くことができるようにすることが求められる中、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現をめざすことが示されています。

そして、新学習指導要領は、平成29年3月31日に公示され、中学校では来年度から全面实施されることになりました。新学習指導要領では、教科等の目標や内容を見通し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のためには教科等横断的な学習を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められており、生徒自身がしっかりと目的をもって学び、学んだことを深め、日常・社会生活において活用できる力の育成が必要とされています。

本市においても、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るためにHirakata授業スタンダードを作成し、授業においては、単元全体を見通した学習や言語活動を充実した上で、めあてを提示し、めあての解決に向けた見通しを持たせ、「じっくり考える」活動、「交流し、深める」活動、振り返る活動を通して、児童生徒の「生きる力」の育成に努めてまいりました。

予測が困難な時代の中にあっても、変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら課題を解決していく力を育むことができる教科書を、枚方市の子どもたちに採択していきたいと考えています。

また、すべての子どもに学びを保障するという観点から「教科書のユニバーサルデザイン化」については配慮しなければならないと考えます。教科書の内容が子どもたちの発達段階に合った内容かどうか、全ての子どもたちが親しみやすいか、取り組みやすい教科書か、ユニバーサルデザインに配慮しているか、そういった視点が大事だと思っています。この点も比較検討する必要がありますと考えます。

一方、各発行者の教科書においては、学習指導要領の改訂に伴い、生徒が「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう様々な手立てが新たに示されていました。特にQRコードを記載し、学習に役立つ情報が掲載されているWEBサイトにアクセスできるよう設定されている教科書が増えたことも大きな変化の一つです。

しかし、今回の採択においては、大阪府の教科書採択の方針にならい、WEBサイトの可変性を考慮し、その内容に関しては今回の教科書採択の観点としては取り扱わないことといたしました。

○奈良教育長 今年度の教科書採択に当たっては、学習指導要領に照らして、良い特徴が多くあることを基準といたしまして、『本市が取り組んできたHirakata授業スタンダードをベースに、すべての生徒が未来社会を切り開くための資質・能力をつけることができるか』『「教科書のユニバーサルデザイン化」についての配慮がされているか』。この2点を採択のポイントとして確認させていただきます。

本日は、さらに採択にあたっての観点を明確にするため、まず、事務局から選定委員会の答申内容の説明を受け、その質疑を行いたいと思います。

なお、委員間の協議が必要な場合は、質疑の中でその旨ご発言をお願いします。

質疑の後は、討論を行い、それから教科用図書の決定を行いたいと思いますが、このような進

行でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○奈良教育長 それではまず、「令和3年度使用中学校教科用図書の国語」につきまして議題といたします。

説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 国語につきましては、選定委員会から、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社について答申をされました。

議案書5ページ、6ページにございます国語の答申の写しをごらんください。

なお、教科書につきましては各種目とも発行者番号順に述べさせていただきます。

学習指導要領の国語科の目標及び内容を踏まえまして、東京書籍は、社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。特に、情報の扱い方については「学びの扉」や「学びを支える言葉の力」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっています。単元構成については、「てびき」や「たすけ」で生徒が内容を整理し、読み深め、自分の考えを深め、学びの振り返りができるよう、学習の過程を示しており、そのうえで、「学びの扉」「学びを支える言葉」では、漫画や図表などを用い、基礎的な国語力が向上するよう工夫されています。

三省堂は、社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われています。特に、情報の扱い方については各学年で大単元として設定された「情報に関係づける」や各教材の後の「思考の方法」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっています。単元構成については、「学びの道しるべ」で生徒が内容を整理し、読み深め、自分の考えを深め、学びの振り返りができるよう、学習の過程を示しており、見通しをもって学ぶことができる構成になっています。

また、「読書の広場」では、3学年とも同じ観点で分類され、発達段階に応じた本が紹介されており、読書に親しみ、進んで学習や生活に生かすことについて配慮されています。また、「読み方を学ぼう」では、説明文のプレ教材や図解などにより、文章を読み解く力が向上するよう工夫されています。

教育出版は、社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われています。特に、情報の扱い方については各学年で複数の箇所を設定された「メディアと表現」の単元や、「学びナビ」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっています。また、単元構成については、「学びナビ」「みちしるべ」で生徒が内容をつかみ、読み深め、自分の考えを伝えようという学習の過程を示しています。

批判的に論説文を読んだ後、具体例を基に説明文を書く活動が設定されており、論理の展開や構成を考えながら、多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されています。

光村図書は、社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われています。特に、情報の扱い方については「情報社会を生きる」「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっています。

単元構成については、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」という学習の過程を示しており、主体的に生徒が学習に取り組むことができる構成になっています。「思考の地図」「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」では、イラストや図表などを用い、基礎的な国語力が向上するよう工夫されていることも特徴の一つです。

選定委員会といたしましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断して本市の生徒にとってふさわしい教科書は三省堂と光村図書であり、その中でよりふさわしいものを選ぶとすると、三省堂であると聞いています。

答申でございますように各発行者それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○奈良教育長 それでは、これから質疑に入ります。

質疑はございませんか。神田委員。

○神田委員 国語科では、生徒が言葉に着目して、言葉に対して自覚的になる「言葉による見方・考え方」を働かせ、言語活動を通して、国語を正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成をめざすとあります。各発行者の教科書において、資質能力を育成するための手段として設定されている効果的な言語活動例を教えてください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 授業改善のための言語活動の創意工夫につきましては、今回の学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」を実現するにあたり、注目すべき観点であり、選定委員会においても審議が行われたときいています。各社とも、工夫や特徴がみられ、多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されています。

その中でも、三省堂では、「読む」観点をプレ教材の短い文章で学習した後、その力を使って評論文を読み、その後図表や資料を使い条件に応じて文章を書く活動、交流を通して考えを深める活動、学びを振り返る活動が取り扱われています。光村図書では、例示や図解を通して学ぶ観点を確認し、それらを活用して論説文を読み、根拠となる情報を集め説得力のある構成を考え、スピーチを行う活動が取り扱われています。

○奈良教育長 ほかに質疑はございませんか。

谷元委員。

○谷元委員 新学習指導要領において、読書は「国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである」とあります。国語科の学習が読書活動に結び付くために、「読書」の取り扱いに関して特徴のある発行者について、具体的に例をあげて説明してください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 読書に関してはどの発行者も読書教材を工夫して配置していました。

三省堂では、全学年が同じ六つのテーマで紹介する「小さな図書館」や作家の読書体験を紹介した「私の読書体験」、教材と関連する内容の本を紹介する「私の本棚」、読み解き方を説明した「読み方を学ぼう」を活用する素材ともなっている読書教材を紹介した「読書の広場」など、生徒が主体的に読書をするような工夫が見られます。

光村図書では、様々なテーマ別に多様な本が「本の世界を広げよう」で紹介されている。また、

教材ごとに「広がる読書」で作者や教材のテーマに関連した本が紹介され、読書に親しみ、進んで学習や生活に生かすことについて配慮されています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。近藤委員。

○近藤委員 新学習指導要領では「語彙は、全ての教科等における学習の基盤となる重要な要素である」とあり、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語感を磨き、語彙の質を高めることが求められています。

各発行者において、語彙を量と質の両面から充実させ、豊かにするための手立てとして、どのような工夫があるのか、教えてください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 語彙に関する指導の充実については、全社、本文下部や教材後の説明部分での紹介、資料編での語彙集掲載などで、知識だけではない使える技能が備わるよう、語彙力向上のための工夫を凝らしています。また、文法、漢字に関しても、本編での学習内容だけではなく、解説、資料編での解説等により定着が図られるよう、構成されています。

○奈良教育長 ほかに質疑はございませんか。

これをもって、質疑を終結します。

これから討論に入ります。

討論はございませんか。神田委員。

○神田委員 光村図書の教科書では、文章を比較して読む活動を複数設定しており、物事について生徒が多角的に考えることができるよう構成されています。

一方、三省堂の教科書では各学年において説明文を学ぶ際、折込形式のプレ教材で「読み方を学ぶ」という構成になっています。以前は、図解で着目すべき点をまとめられていたと思いますが、今回、それに加え、このような書下ろしの短い文章を用いて丁寧に生徒が「学び方」を学ぶことは、確かな力の育成がかなう、とても有効な構成であると思います。

本文が一覧できて構造がわかりやすいのも、学ぶ上で生徒の視点にたったものであると思います。

生徒の力を育成するうえで段階的に丁寧な工夫をしていることから、三省堂の教科書が枚方市の生徒にふさわしい国語の教科書であると私は考えます。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 (学習課題)を知り、自分なりの見通しをもつことは、生徒が主体的に授業に臨むうえでとても大切なことですが、光村図書の教科書では、見開きで「見通しをもつ」ことからはじまる学習過程がわかりやすく明示されています。「学習の窓」では、その単元で学ぶポイントがわかりやすく示されており、一覧として示されていることから体系的に学びを確認できる構成であると思いました。

三省堂の教科書では「学びの道しるべ」において、生徒がこの単元で何を学ぶべきかがとてもわかりやすく示されています。特に考えを整理し深める「思考の方法」や、今までの学年も含めて学習したさまざまな読みの方略について確認できる巻末の「読み方を学ぼう」と関連付けて示されているのは、単元においてつけたい力を育むためにとても良いと思います。

学校からも、「学びのみちしるべが学習の支えになる」「読みを深め考えを深めるポイントが整理されており段階的に学習の幅を広げることができる」という意見が寄せられていました。私も三省堂の教科書が生徒だけでなく、教師にとっても授業を行う上で有効なものであると考えました。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 三省堂の3年生「情報を関係づける」では、「情報と適切に関わって生きるために」というテーマのもと複数の情報を関連づけて考えをまとめていく過程をわかりやすく示しています。

社会生活における課題について自分の考えをまとめたポスター製作という言語活動例が最後に示され、論説文「情報社会を生きる」からメディアとの関わり方について考えを深めたあと、「広告の読み比べ」を行うことで、同じ商品を宣伝していても観点を比較することで、作り手の意図が異なり、多様な考えを読み取ることを学び、自分の実生活における情報についての考えを主体的に深めるよう取り扱われています。

新学習指導要領では、「情報の扱い方に関する事項」が新設され、急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現できる力が求められています。

この点から考えても、三省堂の構成は生徒にとって学習の見通しが非常にわかりやすく、生徒はもちろんのこと、教師にとっても、育成すべき力、手立てが明確にしめされていると思います。

よって、私も三省堂の教科書が枚方市の生徒にとってふさわしい国語の教科書であると思います。

○奈良教育長 橋野委員。

○橋野委員 巻末の資料がとても多いことに驚きました。特に三省堂では、各単元において登場した「思考の方法」の一覧や効果的に図もしめしながら用語をまとめた「学習用語辞典」、文学史年表以外に「社会生活に生かす」というインデックスにおいてメモの取り方や話し合いの形式、辞典の活用、手紙やはがき、メールの書き方等に至るまで、生徒が国語の授業だけでなく、他教科の学習や社会生活において活用できる情報を整理して示していることもよい点であると思います。また、さきほどの質疑のときに紹介されました「私の本棚」の部分は、教科書だけの学びにおわらず、生徒が発展的に学んだことを広げていくために良い手立てであると思います。

このような点から鑑みても、私も三省堂の国語の教科書が本市の生徒にとって適切であると思います。

○奈良教育長 今回の学習指導要領の改訂を受け、各発行者の教科書を見ると、今までと同じ教材を取り上げていても、より示され方が精査され、工夫されているといった点が見受けられました。

また、今まで以上に他の教科や教材に活用できるよう情報が整理されています。

調査員からの報告書の6つの調査項目に、本日確認した観点を加味すると、私も三省堂、光村図書が甲乙つけがたいと思います。しかし、その中でも三省堂の教科書は、主体的・対話的で深い学びの実現のためには、「じっくり考える」手立てが充実しており、「質」の高い「学び合い」を行うために効果的であると考えます。

○奈良教育長 ほかに討論はございませんか。

これをもって討論を終結します。

これより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書の国語につきましては、生徒にとって学習の見通しが非常にもちやすく、丁寧に「学び方」を学べることで確かな力の育成がかなう構成となっている三省堂を採択することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。よって、三省堂を採択することに決しました。

それでは、議案書の15ページの令和3年度枚方市立小中学校使用教科用図書の(中学校用)の国語の欄に発行者番号15、発行者略称「三省堂」、書名「現代の国語」とご記入ください。

続きまして、「令和3年度使用中学校教科用図書の書写」を議題といたします。

説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 書写につきましては、選定委員会から東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社について答申されました。

議案書7ページにあります書写の答申の写しをごらんください。

学習指導要領の国語科の目標及び内容を踏まえまして、東京書籍は、どの単元も「見つけよう」で課題を示し、「確かめよう」では、実際に筆で書いて確かめ、「生かそう」で硬筆での実用に生かす構成になっています。また、硬筆教材と毛筆教材のバランスが適切です。「職場体験学習」や「防災訓練」など実際の生徒の生活に即した内容が充実しており、「生活に広げよう」で、案内の手紙や本のポップ、パンフレットなど日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられています。「書写のかぎ」では、学ぶポイントがまとめてあります。

三省堂は、単元が「目標を確かめよう」「書き方を学ぼう」「見つけよう・考えよう」「学習を振り返ろう」で構成され、それぞれがアイコンで示されています。硬筆教材の分量が充実しています。また、「やってみよう」で、グループ新聞や名言集を作るなど、学んだことを活かす活動が多く取り上げられています。

教育出版は、単元が「目標」において硬筆で試し書きし、「考えよう」で毛筆、「生かそう」において硬筆で実用に生かして「振り返ろう」という構成になっています。また、硬筆教材では、レポートやポップの制作など他の教科でも利用できる教材が扱われています。

光村図書は、「考えよう」で課題を掲出し、「確かめよう」で毛筆、「生かそう」で硬筆という構成になっています。また、硬筆練習用の別冊があります。「学校生活」では、行書によるメモやノートの書き方等、学んだことを活かす活動が多く取り上げられています。手本のページは全体的に説明が少なくすっきりしており、落ち着いて学習に集中できます。UD文字についても取り上げられています。

選定委員会といたしましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断して本市の生徒にとってふさわしい教科書は東京書籍と光村図書であり、その中でよりふさわしいものを選ぶとすると、東京書籍であると聞いています。

答申にございますように各発行者それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきます

ようよろしく願いをいたします。

○奈良教育長 それでは質疑に入ります。

質疑はございませんか。神田委員。

○神田委員 書写においては、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うよう取り扱われています。この点において各発行者の教科書をみたとき、特に特徴のある発行者の教科書について、具体的に説明をお願いします。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 東京書籍においては、毛筆教材の始めに硬筆で課題を見つけ、毛筆で確かめた後、硬筆に毛筆の学びを生かし、さらに硬筆でまとめをするというパターンで構成されており、毛筆教材と硬筆教材がバランス良く配置されています。

光村図書においては、書写ブックとして硬筆練習帳を別冊にして、毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ課題を多く設定し、硬筆練習がしっかりできるようになっています。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 ユニバーサルデザインの観点から、各発行者の教科書を見たとき、各発行者の教科書において工夫されている点について、具体的に説明をお願いします。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 各発行者も落ち着いて学習できるよう、色使いなどに配慮されています。東京書籍、教育出版、三省堂では、硬筆練習をする際、手本字が上に書かれており、右利きの生徒も左利きの生徒も手本を見ながら練習することができます。

光村図書においては、特にUD文字の説明をコラムで扱っています。また、手本のページは全体的に説明が少なくすっきりしており、落ち着いて学習に集中できるよう配慮されています。

○奈良教育長 ほかに質疑はございませんか。

それでは、これをもって質疑を終結します。

これから討論に入ります。

討論はございませんか。谷元委員。

○谷元委員 新学習指導要領の3年生の指導事項には、「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的な文字を書くこと」とあります。

光村図書では「文字を使い分ける」という単元で全国文字マップとして全国様々な場所の特徴ある文字を取り上げています。いろいろな書体で書かれた文字を確認することで、身の回りには様々な文字があること、使い分けることについて学ぶことができます。

東京書籍では「効果的に文字を書こう」という単元で身の回りの様々な文字を取り上げ、その目的や特徴、工夫を考えさせ、生活の中でどのように生かしていくか話し合う振り返りを設定しています。また、コラムとして文字に関わる4種の職業を取り上げ、手書き文字の効果について多面的に知ることができるように工夫されています。

より多角的に文字に関する情報を示し、興味関心を高める構成となっているという点において、私は東京書籍の書写の教科書が、枚方市の生徒にとって最も適していると考えます。

○奈良教育長 橋野委員。

○橋野委員 各発行者とも学習指導要領の趣旨が踏まえられ、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成できるような工夫がみられました。特に東京書籍を見ますと、職場訪問や防災訓練など、生徒の日常につながる場面を具体的に想定して、書写でつけた力をいかす活動が取り入れられていますね。

訪問先に依頼する際の依頼状、職場訪問した際に聞きとった話を記載するメモ、お礼状、そして学習したことを報告・発表する際のポスターやレポート等、これまでの学習を通して学んだことを、丁寧に日常生活、そして社会生活につなげる構成は、生徒が主体的に学習していくためにもとてもよい内容であると思います。このことから、私も東京書籍の書写の教科書がよいと思います。

○奈良教育長 他に討論はございませんか。神田委員。

○神田委員 前回の採択の際の教科書と比べますと、東京書籍については、より対話を促す場面を多く設定しているな、と思いました。例えば振り返りでは自分ができたことを確認するのではなく、「生活の中でどのように生かしていくか話し合おう」「どのように活用したか話し合おう」というように、常に自分たちの生活とつなげることを意識しながら振り返るように設定されています。

また、防災訓練や職場体験については、以前から取り上げていましたが、今回は最初の1頁で全体の流れを明確に示したあと、それぞれの場面で必要となる書写で学習してきたことをいかす内容を具体的に示しており、ここでもより見通しをもって生徒が学んだことを日常へとつなげていく構成になっています。

「書写活用ブック」も教科の学習や生活に活用できる様々な書式が紹介されており、目的に応じて効果的に「書く」ことが学べる手立てであると思います。私も東京書籍の書写の教科書が、もっとも枚方市の生徒にとってふさわしい教科書であると考えました。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 私も東京書籍の書写の教科書がもっとも枚方市の生徒にとってふさわしい教科書であると考えます。

東京書籍については、まず見通しをしっかりとめる構成になっていることが良い点であると思いました。さきほど神田委員がおっしゃられた日常において経験する活動の場面だけでなく、3年間を通して書写で学ぶことを見開きで紹介し、3年生で学ぶこと、つまり9年間の学びのゴールが「身の回りにある文字の多様な表現を通して文字文化に触れ、効果的な文字を書くことが学習する」ことをしっかりおさえることができるようになっています。

また、日常に使用している硬筆の文字を整えて書くポイントを示した「書写のかぎ」が随所に掲載され、丁寧に力を高めていくことができる工夫もよいと思いました。

○奈良教育長 ほかに討論はございませんか。

これをもって討論を終結します。

これより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書書写につきましては、見通しをもって学ぶことができ、対話

的な振り返りが設定されていることや、自分たちの生活へとつながる教材が充実していることから東京書籍を採択することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。

よって、東京書籍を採択することに決しました。

それでは、議案書の15ページの令和2年度枚方市立小中学校使用教科用図書(中学校用)の書写の欄に、発行者番号2、発行者略称「東書」、書名「新しい書写」とご記入ください。

それでは、続きまして「令和3年度使用小学校教科用図書の社会(地理的分野)」を議題とします。

説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 社会(地理的分野)につきましては、選定委員会から東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社について答申されました。

議案書8ページにございます。社会(地理的分野)の答申の写しをごらんください。

学習指導要領の社会科の目標及び内容を踏まえ、東京書籍は、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」では、課題を「つかむ」「追究する」「解決する」の単元構成を基本とし、単元のはじめに探究課題が示され、学習活動の方向性が明確になることによって課題解決的な学習に取り組む構成になっています。単元のまとめのワークシート例が活動を深められる内容であり、キャラクターが案内をして生徒が対話によって課題を深め、取り組みやすい内容になっています。

教育出版は、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」では、課題を「見通す」「確認・表現する」「捉えなおす」「振り返る」の単元構成を基本とした課題解決的な学習に取り組む構成になっています。単元のまとめでは、地理に関する様々な情報を調べまとめるための適切な内容が取りあげられています。

帝国書院は、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」では、課題を「問いで見通す」「確認・説明する」「振り返る」の単元構成を基本とし、章や節ごとの「問い」を軸にした課題解決的な学習に取り組む構成になっています。単元のまとめでは、地図で位置関係を整理したり、語句を確認したり、学習内容を文章でまとめるなど、地理に関する様々な情報を調べまとめるための適切な内容が取りあげられています。

日本文教出版は、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」では、「導入」「あらまし」「テーマの追究」「まとめ」の単元構成を基本とし、クイズによる導入後の「あらまし」のページで掲げられる「追究するテーマ」を軸にした課題解決的な学習に取り組む構成になっています。単元のまとめでは、地理に関する様々な情報を調べまとめるための適切な内容が取りあげられています。

選定委員会といたしましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断をして東京書籍と帝国書院が本市の生徒にとってふさわしい教科書であり、さらに、本市の生徒にとってよりふさわしい教科書は東京書籍であると報告をされています。

答申にございますように各発行者それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○奈良教育長 これから質疑に入ります。

質疑はございませんか。谷元委員。

○谷元委員 新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの実現が目指されています。この学びを実現するために今回の教科書にはそれぞれの発行者において構成の工夫が見られると考えますが、各発行者どのような工夫があるのか。説明をお願いします。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 東京書籍は、単元の初めに探究課題が示され、各節にある「探究のステップ」を踏むことで思考が深まり、探究課題の解決につながる構成となっております。

教育出版は、冒頭でSDG s（持続可能な開発目標）について取りあげ、それに関連付けて、主体的に現代の世界や日本の課題を読み解いたり追究したりする学習展開になるように構成されています。

帝国書院は、教科書冒頭にSDG s（持続可能な開発目標）について取り上げ、「未来に向けて」「地域のあり方を考える」で32テーマに渡って持続可能な社会を作るための参考の取り組みを提示する構成になっています。

日本文教出版は、教科書冒頭、章、時間ごとに「地理的な見方・考え方」が示されており、教科書を通して地理的な見方・考え方を生徒が意識して学習できる構成になっています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。橋野委員。

○橋野委員 最近の気象状況を見ると、先日の九州地方における大雨による河川の氾濫など、自然災害が頻発しています。

社会科としては、防災や安全教育の観点で自然災害に対応した人々の暮らしのあり方を考えることが大事だと考えますが、このことについて各発行者はどのように扱っていますか。説明をお願いします。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 どの発行者も、自然災害に対応する内容を教科書本文で取り上げております。さらに、東京書籍は、「もっと地理」において、地震の原因や仕組みが示され、防災対策を考えようという課題を設定しております。

教育出版は、「災害から身を守るために」においてハザードマップの読み取り方を示し、身近な地域の災害の対策を課題としております。

帝国書院は、「技能をみがく」においてハザードマップ読み取り方や防災情報の入手の仕方が示されております。

日本文教出版は、ハザードマップの使い方が詳しく説明されております。

○奈良教育長 ほかに質疑はございませんか。

これをもって、質疑を終結します。

これから討論に入ります。

討論はございませんか。神田委員。

○神田委員 今回、学習指導要領の改訂があり、どの発行者もその趣旨に即した教科書を作成しており、内容が大きく変わっているものもあります。

社会科の目標には、「思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う」とあるように、社会科では課題を追及したり解決したりするために、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論する言語活動の充実も求められます。そのような中で東京書籍のまとめは、「『テレビ局のディレクター』になって近畿地方を発信しよう」など目的意識と相手意識をもって取り組める言語活動が設定されています。

帝国書院は「特色と課題を整理しよう」「問いに対する考えを説明しよう」「持続可能な社会について考えよう」の3ステップで振り返りを構成しています。学んだ情報を整理しながら、自分の考えを整理し、その考えを社会につなげる工夫があります。

この2社を比較すると、目的意識と相手意識をもって取り組めることは、生徒の意欲向上にもつながるため、私は東京書籍の教科書が枚方市の生徒にふさわしい地理の教科書であると考えます。

○奈良教育長 橋野委員。

○橋野委員 先ほど谷元委員からも質疑のあった新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、児童が興味・関心をもって自ら学びたいと思う教科書が必要だと考えます。

そのような意味では、東京書籍のまとめの言語活動が印象に残りました。先ほど神田委員が言われた活動の他にも「世界一周旅行を企画しよう」や「自然環境を生かした「北海道ツアー」を考えよう」などもあります。生徒が「おもしろそう!」「やってみたい!」と思える言語活動を章や節の最後に据えて、生徒の学習意欲を引き出す工夫があります。この点からも東京書籍が枚方市の生徒にとって適切な教科書であると思います。

○奈良教育長 ほかに討論はございませんか。近藤委員。

○近藤委員 全発行者にあるキャラクターの吹き出しも生徒の活動を促す工夫であると思います。東京書籍の章の導入とまとめのふきだしは、この単元で学ぶこと学んだことをキャラクターが案内をして、生徒が対話によって課題を深めるようになっており、学習に取り組みやすい内容になっています。

よって私も東京書籍が枚方市の生徒にもっともふさわしい教科書であると考えます。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 今回はどの教科書も、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫をしていて、甲乙つけがたい状況ではありますが、生徒たちが学びやすいという観点で考えたとき、東京書籍は、各節ごとに「探究のステップ」が設定され、まとめの活動につながる考え方が示されており、対話と学びの深まりを促す構成となっております。

教師が使いやすく、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現するという点では東京書籍が本市の地理教科書として最も良いと考えます。

○奈良教育長 ほかに討論はございませんか。

これをもって討論を終結します。

これより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書の社会（地理的分野）につきましては、生徒が意欲的に学習できる言語活動が設定されており、対話と学びの深まりを促す構成で主体的・対話的で深い学びを実現できる東京書籍を採択することにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。よって、東京書籍を採択することに決しました。

それでは、議案書の15ページの令和3年度枚方市立小中学校使用教科用図書の（中学校用）の社会（地理的分野）の欄に発行者番号2、発行者略称「東書」、書名「新しい社会 地理」とご記入ください。

続きまして、令和3年度使用中学校教科用図書の「社会（歴史的分野）」を議題といたします。説明を求めます。

狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 社会（歴史的分野）につきましては、選定委員会から、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版、育鵬社、学び舎の7社について答申されました。議案書9ページ、10ページにあります歴史の答申の写しをご覧ください。

学習指導要領の社会科の目標及び内容を踏まえ、東京書籍は、見開き2ページ左上の学習課題、右下のチェックとトライで、学習する内容を確認して、歴史的な見方や考え方を働かせて説明させるように構成しています。

章の導入等にある「みんなでチャレンジ」にはグループ学習しやすい課題が提示し、いくつかの資料を読みとって話し合う活動があります。「まとめの活動」では、様々な種類のチャート図を使って、学習内容を整理し、生徒が根拠をもって説明することができるように工夫されています。

教育出版は、見開き2ページ左上の「学習課題」、右下の「確認」「表現」で、歴史的な見方や考え方を働かせて説明させるように構成しています。各単元末の「学習のまとめと表現」では、図や年表を用いて整理したり、関係図にまとめる活動を通じて、学習内容をまとめられるようにし、学習内容の確実な習得を図っています。

帝国書院は、見開き2ページ左上の「学習課題」、右下の「確認しよう」「説明しよう」で、学習内容を確認し、歴史的な見方や考え方を働かせて説明させる構成をしています。各単元末の「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」への自分の考えを整理し、グループで話し合う活動を通じて、学習内容の確実な習得を図っている。「未来に向けて」のSDGsに関連する項目には、マークが付けられ主体的な学習展開につなげる工夫があります。

山川出版は、見開き2ページ左上に発問の形で学習課題を提示し、右下には課題追及に向けた「ステップアップ」を配置、歴史的な見方や考え方を働かせて説明させるように構成しています。各章のまとめでは、学習内容を系統立てて整理する図表が課題として提示されており、学びを深められる構成になっています。

日本文教出版は、見開き2ページ左上の「学習課題」、「見方・考え方」「深めよう」そして右下の「確認」で、学習する内容を確認して、歴史的な見方や考え方を働かせて説明させるように構成しています。各編のまとめの活動では、様々な「アクティビティ」があり、考察、判断し

たことを、生徒が自分なりの根拠をもってまとめ、説明する活動が設定されています。

育鵬社は、見開き2ページ左上に課題を提示し、右下に鉛筆マークで提示した問いに取り組む形で、学習する内容を整理して、歴史的な見方や考え方を働かせて自分の考えを説明させるように構成しています。「地域の歴史を調べてみよう」で身近な地域を取り上げて関心を持たせ、地域の歴史と調べ方や発表の仕方を説明しています。

学び舎は、見開き2ページの本文の左上の注目するポイントにそって、本文読みとり、章や部の「学習のまとめ」と「ふりかえり」でまとめて歴史的な見方や考え方を働かせる構成がされています。「歴史を体験する」では、考察判断したことを論理的に説明したり、立場・根拠を明確にして議論したりする活動が示されています。

選定委員会としましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断して、東京書籍と帝国書院が本市の生徒にとって、ふさわしい教科書であり、さらに、本市の生徒にとって、最もふさわしい教科書は東京書籍であると報告されています。

答申にありますように、各発行者、それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○奈良教育長 これから質疑に入ります。質疑はございませんか。

谷元委員。

○谷元委員 先ほどの地理に引き続きとなりますが、今回の学習指導要領改訂のポイントは「主体的・対話的で深い学び」の実現であると考えます。歴史分野の教科書に関して生徒が主体的・対話的で深い学びをするために各発行者はどのような工夫をしているのでしょうか。説明願います。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 各社とも毎時間の学習の「めあて」にあたる学習課題を提示しており、学び舎以外の6社が、「まとめ」や「振り返り」につながる確認や説明の課題を設定し、生徒が主体的に歴史的な見方・考え方を働かせて学習に取り組める展開で構成されています。

それに加えて、東京書籍は、さらに各節の「探求のステップ」を踏まえて、各章の「探求課題」に取り組む学習を展開しています。

教育出版は、各節のはじめの課題に対して、キーワードを提示して「節をとらえる」の課題で振り返る学習を展開しています。

帝国書院は、各節の問いと「振り返ろう」の学習、章の振り返りでは「章の問いの答え」を踏まえて、時代の特色を歴史的な見方・考え方に基づく根拠をもって説明する学習を展開しています。

山川出版は、「地域からアプローチ」「歴史を考えよう」では、資料を生かして歴史を調べたり考えたりする課題や発問があり、自分の考えをもって対話的に学びを深める展開があります。

日本文教出版は、毎時間の側注に「見方・考え方」「深めよう」を提示して、学習課題から確認への学習を進める手助けをしています。

学び舎は、部末の「学習のまとめ」では、表や資料を読みとり比較するなどして考える活動や、漫画などの手法で発表する方法の体験、対話的な活動を提示し、学習を深められるようにしています。

育鵬社は、各章末に「歴史のターニングポイント」と「私の歴史博物館をデザインしてみよう」の活動で、歴史的な見方・考え方を働かせる学習を設定しています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。神田委員。

○神田委員 幅広い年齢や経験年数の教職員がいる中、どの教員が教えても生徒が主体的・対話的で深い学びをすることができ、社会科でつきたい力をつけることが大切となってきます。

もちろん「教職員の資質と指導力の向上」は引き続き取り組んでいってほしいところですが、経験の浅い教師が教える場合も、子どもたちの理解につながるように、特にしっかりと内容が整理された教科書はどの発行者になりますか。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 東京書籍と帝国書院だと報告を受けております。

どの発行者も教師が系統立てた指導を行いやすく、生徒が主体的に学びやすい教科書になるように工夫されていますが、中でも東京書籍は、単元のまとまりを強く意識した構成が特徴的で、単元を貫く章の問いの答えに向けて、1時間ごとの学習課題の解決、節の問いの解決といった学習が積み上げられていく単元の構造が、生徒にもとても分かりやすく示されています。

また、帝国書院は、同じく単元のまとまりを意識した構成で、3ステップの章のまとめ活動には話し合い活動が組み込まれています。また、多角的・多面的に日本の歴史をとらえるための工夫も大きな特徴です。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。近藤委員。

○近藤委員 近年、言語活動の充実という言葉をよく耳にします。将来社会に出る子ども達にとって、他者と協力しながら、考え議論する力は経験上大切であると考えますが、選定委員会で挙げられた2社の教科書にそのような力を養う工夫はありますか。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 どちらの発行者も毎時間の授業の振り返りやまとめで、学習内容をまとめ、説明させる課題が設定されている点で思考力・判断力・表現力などの資質・能力を養うように工夫しています。

東京書籍では、「まとめの活動」で、様々な種類のチャート図を使って、学習内容を整理し、生徒が根拠をもって説明し、話し合う力を身に付けられるように工夫されています。

また、帝国書院では、各章の「章の学習を振り返ろう」で、章の問いに対する自分の考えを歴史的な見方・考え方で整理し、話し合いを通して考えを深める力を身につける工夫がされています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。

これをもって質疑を終結します。

討論に入る前にまず、私からよろしいでしょうか。

今年度、教科書センター及び中央図書館における教科書展示に訪れた市民も前回よりも増え、意見の中には、歴史や公民の教科書に対する意見が数多く見られました。委員会に寄せられた各要望書を見せていただいても歴史・公民の教科書に対する意見が多数示されておりました。

その市民の方々の意見等も総合的に考え、本市の子どもたちにとって、有益な、よい特徴が多

くある教科書を採択していくという方針には変わりがないことをここで確認しておきたいと思います。

それでは、これから討論に入ります。討論はございませんか。橋野委員。

○橋野委員 先ほど谷元委員からご質問のあった主体的・対話的で深い学びについてですが、やはり生徒にとって学びやすい、わかりやすいものがよいと感じます。見通しを持って学習ができ、その結果就けるべき力がついているというのが理想であると考えます。

その点では、東京書籍の「探究のステップ」は、節ごとの課題を解決していくことで、最後には章の大きな課題を解決できる構成になっていて、生徒にとっても学びやすく、「これをやっていけば最後は探究課題を解決できるんだ。」と安心して学習を進めることができます。よって私は東京書籍が枚方市の生徒にふさわしい歴史の教科書であると思います。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 今回の学習指導要領の改訂では、各教科で見方・考え方を働かせることが一つのポイントとなっています。社会科の目標でも、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して」とあります。この社会的な見方・考え方を働かせることで、主体的・対話的で深い学びにつながってきます。

今回の教科書では、日本文教出版が毎時間の学習課題とともに見方・考え方を示し、教科書を通して見方・考え方を大切にした構成になっていますが、他の発行者を見ると東京書籍が本文中や資料に多くの「見方・考え方コーナー」を示し、生徒が見方・考え方を意識しながら学習を進めていく工夫をしています。この点からも東京書籍が枚方市の生徒にとって適切な教科書であると考えます。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 歴史は小学校で学んだものの積み重ねとして中学校の学習があります。そうすると、小学校で学んだことを重複して学ぶこととなります。どこが既習でどこが未習なのかがはっきりと分かった方が、生徒が学習内容を整理して学べるのではないのでしょうか。そのような点で、今回東京書籍と帝国書院の2社の教科書を見比べてみると、どちらの発行者も小学校で学んだ出来事が章の冒頭に示されており、既習事項がとても分かりやすくなっています。

この上で、東京書籍の教科書では「みんなでチャレンジ」で小学校の学習をグループで話し合う活動があります。これは対話的な学びという点で有効です。この点から見ても、私は東京書籍がもっともふさわしい教科書であると思います。

○奈良教育長 神田委員。

○神田委員 東京書籍の現行の教科書と新しい教科書を見比べたところ、先ほど、近藤委員が言われた小学校との接続がより明確にされたことも含めて、学習指導要領の改訂によって、大きく変わっていることがわかります。現行の教科書では、本時の学習の積み重ねを章のまとめにつなげているのに対して、新しい教科書では、本時単独ではなく、章全体を見据えた課題設定のもと学習を積み重ねる構成となっています。東京書籍はこの点を強く意識した構成となっており、各章、単元、毎時間の活動が系統立てられた構成になっていることが、生徒にはっきりと伝わります。

Hirakata授業スタンダードによって、単元を通してつきたい力を明確にした学習に取り組んで

きた本市にとって、東京書籍の教科書がこれまでの取組みをさらに充実させるのに適していると考えます。

○奈良教育長 他に討論はございませんか。

これをもって討論を終結します。

これより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書の「社会（歴史的分野）」につきましては、章全体を見据えた課題設定のもと学習を積み重ねる構成があり、小学校との接続や見方・考え方を意識させる学習など総合的に優れていると判断して東京書籍を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。よって、東京書籍を採択することに決しました。それでは、議案書の15ページの令和2年度枚方市立小中学校使用教科用図書の（中学校用）の社会歴史的分野の欄に、発行者番号2、発行者略称「東書」、書名「新しい社会 歴史」とご記入ください。続きまして、令和3年度使用中学校教科用図書の「社会（公民的分野）」を議題といたします。説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 社会（公民的分野）につきましては、選定委員会から、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社について答申されました。議案書11ページにあります公民の答申の写しをご覧ください。

学習指導要領の社会科の目標及び内容を踏まえ、東京書籍は、各章「導入の活動」で立てた単元全体を貫く探究課題に基づいて学習を進められるよう、「探究のステップ」や「まとめの活動」で探究課題を解決するという構成になっています。

各章末の「まとめの活動」の中での思考ツールや「見方・考え方」や教科書の下部にあるチェックやトライ、コラム「みんなでチャレンジ」で多面的・多角的に考察したり、説明や議論したりできるようになっています。

教育出版は、各章「学習の見通し」で示した学習する際の視点を捉えて、学習を進められるよう、「学習のまとめと表現ページ」で学習を振り返るという構成になっています。「言葉で伝え合おう」では、身近な社会的事象をテーマに議論や論述などの言語活動に取り組みながら、多様な考えを交流できるようになっています。

帝国書院は、各単元の導入「学習の前に」や「章の問い」で見通した課題に基づいて学習を進められるよう、「章の学習を振り返ろう」「『学習の前に』を振り返ろう」で学習を振り返るという構成になっています。特設ページ「アクティブ公民」や「章の学習を振り返ろう」などで、具体的な事例や意見交換を通して社会的事象の意味や特色を考えられるようになっています。

日本文教出版は、各編の導入「学習の始めに」で示された身近な場面にある学習課題に基づいて学習を進められるよう、「学習の整理と活用」で学習内容を整理するという構成になっています。「アクティビティ」で具体的な事例などを題材に対話的な学びができるようになっています。

自由社は、各章のはじめに記された、章を通じた問いから課題をつかんで、学習を進められるよう、「学習のまとめと発展」で自らの考えをまとめるという構成になっています。各章の「ア

クティブに深めよう」では具体的な方法を例示しながら、社会的事象の意味や特色を考察したり、説明や議論できるようになっています。

育鵬社は、各章のはじめや「〇〇の入り口」で捉えた章全体の学習内容に基づいて学習を進められるよう、「〇〇のこれから」「学習のまとめ」で学習内容を振り返るといった構成になっています。「学習を深めよう」を設け、社会的事象の意味や特色を多面的・多角的に考察したり、説明や議論ができるようになっています。

選定委員会としましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断して、東京書籍と教育出版と帝国書院が本市の生徒にとって、ふさわしい教科書であり、さらに、本市の生徒にとって、最もふさわしい教科書は東京書籍であると報告されています。

答申にありますように、各発行者、それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○奈良教育長 これから質疑に入ります。

質疑はございませんか。橋野委員。

○橋野委員 先ほど、東京書籍・教育出版・帝国書院の3社が挙がっていましたが、この3社が本市の公民の教科書としてふさわしいとされた理由はどのようなものになるのでしょうか。ご説明ください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 今回検定を通過した6社とも、豊富なコラムやイラスト、構成について、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫が見られますが、東京書籍、教育出版、帝国書院では、大きく章の課題、節の課題、本時の課題が設定されており、章というまとまりの中で、見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫されているためです。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。近藤委員。

○近藤委員 平成30年6月に選挙権の年齢が18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が施行されました。中学3年生は、3年後、国民投票の投票権を有することになることから、国民の政治参加意識や政治的リテラシーを育む、いわゆる主権者教育を中学校・高校で充実させる必要があると考えます。3社の主権者教育の中で特徴的なことがあったらご説明ください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 各者とも本文ページを中心に18歳の選挙権を取り上げ、若者の政治参加について考えさせています。中でも、東京書籍では、「18歳へのステップ」という特設ページを設け写真を豊富に使いながら選挙の流れをわかりやすく説明しています。

また、「現代の民主主義と社会」の単元で「誰を市長に選ぶ」という導入の活動と「市長になって条例を作ろう」というまとめの活動で政治参加のシミュレーション活動を設定しています。

○奈良教育長 ほかに質疑はございませんか。

神田委員。

○神田委員 社会科の公民分野に関しては、1、2年で地理分野・歴史分野を積み上げた上での学習になります。

社会科の目標である公民としての資質・能力の基礎を育てるという意味でも、学習を実生活や社会で生かすということが大切になってきますが、このような観点において3社はどのような取り扱いをしていますか。説明してください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 東京書籍は、インタビューコラムや中学生が社会参画している事例を紹介したり、「公民にアクセス」や章末にある「もっと公民」では、学習していることを、現代社会に見られる課題とつながる内容が取り扱われています。

教育出版は、終章の「私たちが未来の社会を築く」で、持続可能な社会の実現のための様々な課題とその解決について、自分の提言を作成する活動が取り入れられています。

帝国書院は、各部の本文ページや「よりよい社会を目指して」「未来に向けて」「先輩たちの選択」のコラムで掲載される具体事例を通して社会参画を意識できる内容を取り上げています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。

これをもって質疑を終結します。これから討論に入ります。討論はございませんか。

橋野委員。

○橋野委員 社会科の教科書に通じて言えることなのですが、教科書を通して1つの大きな柱を設定している出版社があります。例えば東京書籍は、「情報・技術」「人権・平和」「防災・安全」「伝統・文化」「環境・エネルギー」の5つのテーマを、教育出版はSDGsを教科書の柱として学習を進めていく構成になっています。どちらも、最後の単元でこれらのテーマを深める課題があります。このように、見通しを持てるということは生徒にとっても安心して学習できます。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 3社の教科書を見ますと、どの発行者も「裁判員裁判のシミュレーション」が示され、具体的な事例を挙げて、自分だったらどのような判決を下すのかを根拠をもとに考え、説明する活動になっています。主権者教育とは投票を中心とした政治参加にとどまるものではなく、自分が社会の形成者としての自覚を育てるものであり、当然裁判員ということも含まれてきます。この観点で見ると、3社の中で東京書籍は、「Xが有罪か無罪かについてグループで評議しましょう」という対話的な活動があります。これは、生徒たちが模擬裁判に興味を持ち、社会を見る目を育て、主権者として社会参画するという点で有効であると考えます。

よって私は東京書籍が本市の生徒にとって、最もふさわしい公民の教科書であると考えます。

○奈良教育長 神田委員。

○神田委員 先ほども質問させていただきましたが、学習を生活や社会、自分の将来につなげるということは、「深い学び」という観点からも重要なことであろうと思います。その上で注目すべき点が東京書籍の探究課題であろうかと思えます。例えば、「現代の民主政治と社会」では、「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか」という課題になっています。

このように自分事として課題を解決していき、生活に生かしていくという課題は他の発行者にはない特徴です。これらのことを鑑みても、社会科の目標である公民的資質の基礎を養うという点で東京書籍が本市の公民教科書として最もふさわしいのではないかと考えます。

○奈良教育長 他に討論はございませんか。

これをもって討論を終結しますこれより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書の「社会（公民的分野）」につきましては、章というまとまりの中で、見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを実現でき、また、自分事として課題を解決していき、将来の主権者としての意識を育てることのできる東京書籍を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。よって、東京書籍を採択することに決しました。それでは、議案書の15ページの令和3年度枚方市立小中学校使用教科用図書の（中学校用）の社会公民的分野の欄に、発行者番号2、発行者略称「東書」、書名「新しい社会 公民」とご記入ください。

続きまして、「令和3年度使用中学校教科用図書の社会（地図）」を議題といたします。

説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 社会（地図）につきましては、選定委員会から東京書籍、帝国書院の2社について答申されました。

議案書12ページにあります地図の答申の写しをごらんください。

学習指導要領の社会科の目標及び内容を踏まえまして、東京書籍は、地図の見方、地図帳や索引の引き方、統計資料等の活用の仕方、世界や日本について理解するために、必要な資料が取りあげられています。また、現代の課題を巻頭にまとめてあり、地理的な見方・考え方をもち課題解決に向かう主体性の育成を意識しています。

帝国書院は、地図の見方、地図帳や索引の引き方、統計資料等の活用の仕方、世界や日本について理解するために、必要な資料が取りあげられています。サイズが大判で地図の色遣いもはっきりしているため、生徒にとって見やすく、地理的な見方、考え方を働かせることにつながります。

選定委員会といたしましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断をして、本市の児童にとってよりふさわしい教科書は帝国書院であると報告をされています。答申にございますように各発行者それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきますようよろしくお願いをいたします。

○奈良教育長 これから質疑に入ります。

質疑はございませんか。神田委員。

○神田委員 地図帳は社会科において教科書と並行して資料として活用するものです。

地図資料としては何よりも生徒にとって見やすく、使いやすいものであることが大切であると考えます。このような点においては、各発行者はどのような特徴がありますか。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 どちらの地図帳にも生徒が見やすい、使いやすい工夫があると聞いています。

東京書籍は、キャラクターのコメントを通して、資料のポイントを整理し、生徒が資料を読み取り、主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

帝国書院は、立体地図が記載されており授業で活用することによって生徒に具体的なイメージ

を持たせることができます。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 地図帳は社会科の授業の中だけでなく他の教科で使ったり、自分の興味のあることを調べたりすることにも使うことができます。このように、社会科だけでなく、地図帳を他の教科や日常生活でも活用すると考えたとき、2社にはどのような工夫がありますか。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 地図帳の活用の工夫といたしましては、

東京書籍は、現代の課題を巻頭にまとめてあり、地球温暖化によっておこる海面上昇の問題や砂漠化の問題、世界と日本のカロリー摂取量を世界地図で表すなど、地理的な見方・考え方をもって課題解決に向かう主体性の育成を意識しています。

帝国書院は、多様な生活文化を地理的な見方・考え方でとらえられるようになっていいます。また地形を立体的に表現したものや、土地利用や防災についての資料が豊富で、日常にもつながり活用しやすい内容が記載されています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。

これをもって質疑を終結します。これから討論に入ります。討論はございませんか。

橋野委員。

○橋野委員 答申にもありましたが、2つの地図帳を比べたときにまず、大きさの違いが目につきます。帝国書院はA4版の大きさでしょうか。やはり地図ですので、地名を探したりするときに大きいものの方がより探しやすいことに加え、より詳しい記述ができます。生徒が見やすいことに加え、くわしく示すことができるということから、帝国書院の方が本市の生徒にとって有益だと思いました。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 くわしく示すということであると、統計コーナーもそうです。帝国書院は大判であるため、よりたくさん項目が示してあり、様々な観点で各国、各都道府県を比較することができます。

また、グラフのタイトルをイラストでも表現するなど、生徒が一目でわかる工夫もされています。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 帝国書院の地図帳の資料ページに配置された「地図活用」に注目しました。地図を読んだり、比較したりすることを通して、地図や資料を見るための問いが示されています。生徒もこの問いに答えるために地図を見てみようという意欲付けにもなりますし、地図を多面的・多角的に見るという意味でも効果的だと思います。

生徒が興味、関心、意欲を持って学習に取り組むことができる点でも帝国書院が本市の教科書として最もふさわしいのではないかと考えます。

○奈良教育長 他に討論はございませんか。

これをもって討論を終結します。

これより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書の「社会（地図）」につきましては、大版で見やすく、細かい記載もあり、生徒が興味、関心、意欲を持って学習に取り組むことができる工夫をされている帝国書院を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。よって、帝国書院を採択することに決しました。それでは、議案書の15ページの令和3年度枚方市立小中学校使用教科用図書の（中学校用）の社会（地図）の欄に、発行者番号46、発行者略称「帝国」、書名「中学校社会科地図」とご記入ください。

続きまして、令和3年度使用中学校教科用図書の数学を議題とします。

説明を求めます。狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 数学科につきましては、選定委員会から、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社について答申されました。議案書13ページ、14ページにありますが数学の答申の写しをご覧ください。

新学習指導要領の数学科の目標及び内容を踏まえ、東京書籍は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。各章の「深い学び」など順を追って表現する力を育てる工夫がされています。また、「学びをふり返ろう」として見方・考え方をまとめる機会を設けています。

大日本図書は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。章や節ごとに「たしかめよう」「章をふり返ろう」として内容を振り返る機会が設けられています。

学校図書は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。「考え方」や側注により、数学的概念や原理・法則の理解が進む内容となっています。

「どんなことがわかったかな」、「○章△△を学んで」により学びをふり返る機会を設けています。SDGsについて3ヵ年かけて学び考えていく工夫がされています。課題「Q」において、話し合ってみましょう、理由を説明しましょうなど、表現を通して数学的な見方・考え方を学んでいく工夫があります。

教育出版は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。「数学的な考え方」（問を見だし、自分の考えをもち、話し合うことで解決に導き、振り返る）を側注として示すなど、どのように学び、何ができるようになるかの過程が示されています。

また、各学年巻頭において数学的な考え方について例示も含めた解説を挿入するとともに数学的な見方・考え方に基づく「主体的・対話的で深い学び」を構成するための過程が側注として示されています。

啓林館は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。「ひろげよう」で学習課題を確認することで見通しが立てやすい構成になっています。巻末に用意されて

いる「自分から学ぼう編」では、既習内容を振り返り、知識・技能を育み、学びをいかすプロセスで構成されているとともに、随所にリンクが示されており主体的学びを促す工夫がされています。「ふりかえり〇年」で既習事項を反復し、章末「学びをたしかめよう」において内容を振り返る工夫があります。

数研出版は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。巻末に用意されている「自分から学ぼう編」では、既習内容を振り返り、知識・技能を育み、学びをいかすプロセスで構成されているとともに、随所にリンクが示されており主体的学びを促す工夫がされています。

日本文教出版は、数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することのできる内容となっています。

「学びあおう」において身近なことがらを題材に問題解決する過程が示されています。巻末の対話シートや「説明できるかな」や章末「とりくんでみよう」において理由を説明する問を挿入するなど、数学的表現力を育む工夫がされています。

選定委員会といたしましては、調査員の報告及び各委員の意見を踏まえ、総合的に判断して教育出版と啓林館、学校図書が本市の生徒にとってふさわしい教科書であり、さらに本市の生徒にとって最もふさわしい教科書は教育出版であると報告されています。

答申でございますように各発行者それぞれにより特徴がございますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○奈良教育長 これから質疑に入ります。

質疑はございませんか。橋野委員。

○橋野委員 今回、教育出版、啓林館、学校図書の3社があげられていますが、選定委員会における主な話し合いの論点はどのようなことだったのでしょうか。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 学習指導要領の改訂を受け、今回の選定委員会では、「主体的・対話的で深い学び」の実現について主に話し合われました。各社、それぞれ学びの実現に向け、工夫されていましたが、特に、枚方市の生徒にとってとして考えるならば、まず、枚方市には「Hirakata授業スタンダード」があり、その流れを大切にすることに重点がおかれました。

「Hirakata授業スタンダード」では、学びのプロセスとして、めあてを示し「何を学ぶのか」について見通しをもち、主体的・対話的に考察し、「何を学んだか」、「何ができるようになったか」を振り返る授業づくりを求めています。

めあて・目標については全ての発行者において提示がされていますが、振り返りにおきまして、各発行者とも内容や章末に振り返りを促す場面を用意していますが、特に、数学的見方・考え方や「何を学んだか」までを1つの学びとしており、個別の気づきや新たな課題を引き出す「Hirakata授業スタンダード」の趣旨に近いものであること、生徒が課題に向かう工夫があるといった点において特徴があること等から、これら3社があげられたと聞いています。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 めあて・目標については、全ての発行者において提示されているとのことですが、示し方によって生徒の学び方や理解の深まりは変わってくると考えます。この点については、3社どのような違いがありますか。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 教育出版については、各節ごとに何を学ぶのかが明示されています。学校図書についても、内容ごとに「Q」（課題）と目標を明確にしています。啓林館は、「ひろげよう」で学習課題を確認してから例へとつなげており見通しがたてやすい構成となっています。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 今回の数学科の学習指導要領の改訂において、事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する資質・能力を育成する「数学的活動」のより一層の充実が図られましたが、「数学的活動」の部分では、目的意識をもって取り組む「主体性」や言語活動の充実も求められています。この点において特徴のある発行者の具体例をあげ、説明してください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 どの発行者においても、生徒が主体的に学ぶことができるような課題設定や工夫が見られました。例えば、教育出版では、「まちがい」や「まちがえやすい問題」として、敢えて誤った思考過程を題材に取り上げており、言語活動をすすめる観点からも数学的活動として、興味深い題材ととらえることができます。

学校図書では、各学年巻末に対話的な活動を進める内容を扱うとともに、生徒同士の話し合いの場面を取り入れるなど会話を通して数学的な考えを深めていける工夫があります。啓林館の各内容に挿入されている「説明しよう」「話し合おう」などにおいて、他者の考えも取り入れながら、対話的な活動を円滑に進める工夫があります。

○奈良教育長 神田委員。

○神田委員 数学的な見方・考え方をはたらかせながら、生徒が学習を進めるための工夫として、どのようなものがあるのか教えてください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 教育出版は、側注の活用に特徴があり、既習事項や問題解決のプロセス、関連する問題・知識など様々な情報を掲載しており、数学的見方・考え方においても側注や巻頭に示されています。

啓林館は、虫メガネマークとして内容の中で、随所に見方・考え方を挿入しています。

○奈良教育長 橋野委員。

○橋野委員 数学科における学びを実社会や他教科の学習に広げるため、工夫している発行者の教科書があれば、その工夫されている点を具体的に教えてください。

○奈良教育長 狩野学校教育部長。

○狩野学校教育部長 各発行者とも、他教科との関連、日常生活や社会に結び付ける工夫は豊富であるといえます。

日常とのつながりでは、東京書籍は、これからの生活につなげるコンピューターやスマートフ

オンなどの教材や、他教科マークなど用意しています。また、啓林館は巻末にある「学びを生かそう」、数研出版も巻末にある「数学旅行」で、教育出版は各章のとびらや「数学の広場」において、生活や社会、他教科につながる題材を扱っています。学校図書は、巻末にプログラミングやSDGsに関する題材を丁寧に取り上げています。

○奈良教育長 他に質疑はございませんか。

これをもって質疑を終結します。

討論はございませんか。橋野委員。

○橋野委員 学校図書については、目標を確認する前にまず生徒が考えることから学びが始まる構成です。「気づき」から始まる学びの流れは「Hirakataスタンダード」に則したものと考えます。

教育出版は、さきほどの質疑でも説明がありましたが、様々な情報を掲載している測注は、数学に苦手意識をもつ生徒にとって、丁寧に学ぶことのできる手立てになると思います。

啓林館については、「主体的・対話的で深い学び」を実現しようとするための場面設定が多くある、と学校からの意見にありました。「生徒たちの主体性を育ていける」という意見もあるように、生徒が「考える」ところから構成されていることが導入の部分をもよくわかりました。

どの発行者の教科書もそれぞれ工夫されていると思いますが、新しい学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、考える場面を多く設けている啓林館が枚方市の生徒にとってふさわしい教科書であると私は考えます。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 生徒の学びに向かう意欲を喚起するためにも、自分たちでしっかり考える場面と、教師や教科書から学ぶ場面が必要です。新学習指導要領では、より実社会との関わりを意識した数学的活動の充実の必要性が示され、統計的内容の充実として、第1学年でヒストグラム、相対度数を学習し、第2学年では、新たに四分位範囲や箱ひげ図を扱うことになりました。

学校図書、教育出版、啓林館の3社とも日常的な題材から箱ひげ図を学ぶ有用性を考えさせる構成になっています。特に啓林館はこの箱ひげ図に多くのページを費やし、身近なデータに焦点を当て、それらの分布の傾向を比較・分析する活動ができるよう、丁寧に扱われています。最初に示されている問題が「インターネットの通信速度から考えて、どこの会社と契約するのがよいのか」といった社会的な視点を取り入れたものであることも、学びが日常生活につながることを生徒に意識させ、主体的に学ぶことができる内容になっています。

このことから、私も啓林館の教科書が、枚方市の生徒にとってふさわしい教科書であると考えます。

○奈良教育長 神田委員。

○神田委員 新学習指導要領の数学科の数学的活動では、身のまわりや数学の場面から問題を発見し、問題を自立的、協働的に解決するまでの過程が重視されています。

自分から問題を発見し、解決する、そして、解いた問題をさらに発展させたりする力の育成という観点から啓林館の教科書をみますと、ステップ1で日常的な場面が示されている中から問題を設定し、ステップ2において見通しをたて、問題を解いていく構成になっています。その際、

「問い」を重ねることで、生徒自身が見通しをもって考えられるようになっていきます。そのうえで、ステップ3において問題を広げ、深める活動を入れています。

中学校数学科においては、数学的活動を通して主体的・対話的で深い学びを実現するために、その主要な側面として、「日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動」、「数学の事象から問題を見だし解決する活動」、「数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動」の三つを〔数学的活動〕として示されていますが、啓林館のステップ1～3の構成は、この数学的活動が具体的で分かりやすいです。

また、「問題を解決する過程において、どのように考えていくべきか」、それを生徒自身が考え学ぼうえでとても有効なものであると考えます。

よって、私も枚方市の生徒にとって、もっともふさわしい数学の教科書は啓林館であると考えました。

○奈良教育長 近藤委員。

○近藤委員 学ぼうえで大切なこととして、学校における授業に加え、家庭学習があると思います。教育出版はさきほどからもおっしゃられているとおり、測注などで丁寧に問題解決のプロセスが示されており、数学に対して苦手意識をもつ生徒にも丁寧な構成です。巻末には補充問題が掲載されており、実力アップ問題でやや難易度の高い問題にも挑戦できるようになっています。家庭で復習したり、予習する際に活用できる丁寧な手立てが掲載されています。

啓林館は、章末問題以外にも巻末に「自分から学ぼう編」が掲載されており、幅広い学習に活用できます。小学校で学んだ単元を復習できる「算数をふりかえろう」、各章の学習が終わったあと、復習する際に活用できる「力をつけよう」は、入試問題も併せて掲載しています。

そして、学んだことを身の回りで役立てたり深めたりする「学びをいかそう」は、生徒にとって学びに対する主体性を育む問題であると考えます。地域の祭りやうちわを発売する場面を想定して一次関数を用いて考える問題や、箱ひげ図とデータの活用で学んだ知識をいかしてクラス対抗二十跳び大会をする代表を決める問題など、うまく日常につなげた問題であり、数学の有用性を実感できる内容であると考えます。

啓林館は家庭学習において学校で学んだことをさらに広げ、深める手立てが丁寧に取り入れられていると思います。こういった点も含め、私も啓林館の教科書が最も枚方市の子ども達にとってよい教科書であると考えます。

○奈良教育長 学校図書、教育出版、啓林館の3社とも「Hirakata授業スタンダード」における学びのプロセスをおさえた構成であったと思います。中でも「何を学ぶのか」という課題設定において、日常の場面から「気づく」ところからめあての解決に向けた見通しを持たせ、数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感させながら深い学びへとつなげていくことができる問題等において工夫がみられた啓林館の教科書は、より学習指導要領に示されている趣旨を反映しているように思います。

他に討論はございませんか。

これをもって討論を終結します。

これより採決に入ります。

令和3年度使用中学校教科用図書「数学」につきましては、「Hirakata授業スタンダード」に沿うことに加え、「主体的・対話的で深い学び」の実現に際し、最も有効であると判断された啓林館を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○奈良教育長 ご異議なしと認めます。

よって、啓林館を採択することに決しました。

それでは、議案書の15ページの令和3年度枚方市立小中学校使用教科用図書の中学校用の数学の欄に、発行者番号61、発行者略称「啓林館」、書名「未来へひろがる 数学」とご記入ください。

これで、本日予定されていた審議はすべて終了いたしました。次の審議は8月24日の13時からとなります。この間、少し間が空きますので益々の調査研究、協議を重ね、より有意義な審議になるようにしていきたいと思えます。

これをもって、令和2年（2020年）第4回枚方市教育委員会臨時会を閉会いたします。

署 名

奈 良 涉

谷 元 紀 之
